

薬研講座 第3回 薬局新人・若手社員研修

日時 平成28年5月29日（日） 10:00～17:00（受付9:30）

会場 港北区薬剤師会会議室（東急東横線綱島駅徒歩2分）
神奈川県横浜市港北区綱島西1丁目4-13パークサイドレジデンス2B

参加費 薬経連会員（会員紹介者）/港北区薬剤師会会員：18,000円（税別）
薬研会員：9,000円（税別）
非会員：27,000円（税別）

定員 30名（定員になり次第終了）

4月より「かかりつけ薬剤師制度」がスタートしました。患者さんが薬局だけでなく薬剤師も選ぶことができる事になります。しかしながら本制度は始まったばかりであり、本制度により薬局として患者さんに貢献できるかは薬局スタッフ一人ひとりの取り組み次第です。

本研修はかかりつけ薬剤師制度の本質を見直し、薬局の将来を担うスタッフの「知識・スキルの向上」と「ノウハウの共有化」により、かかりつけ薬剤師であるなしに関わらず、薬局スタッフとして患者さんに貢献するための明日への活動に繋げるプログラムです。是非御活用下さい。

プログラム

総司会 薬事政策研究所 矢野 良太郎

1 ご挨拶

2 特別講演① 「新型のかかりつけ薬局の姿を考えてみよう」
保険薬局経営者連合会 会長 山村 真一

3 特別講演② 「専門職としての基礎を固める」
薬事政策研究所 代表取締役 田代 健

4 研修（11:00～17:00）

I 薬局スタッフに必要な「コミュニケーションスキル」

II 「新型のかかりつけ薬剤師制度」を考える

A グループディスカッション

B ロールプレイング

C アクションプラン作成

5 閉会の挨拶

薬事政策研究所
清水 敦

※当研修は日本薬剤師会研修センター3単位申請中です。

共催 薬事政策研究所・港北区薬剤師会
後援 保険薬局経営者連合会

お問い合わせ先：  薬事政策研究所
Research Institute of Pharmaceutical Policies

〒353-0004 埼玉県志木市本町5丁目23-28
TEL：048-486-9865 FAX：048-611-8935
URL：http://www.ripp.co.jp/

特別講演情報

新型のかかりつけ薬局の姿を考えてみよう

保険薬局経営者連合会 会長 山村 真一

今春の改訂で新しくかかりつけ薬局・薬剤師 の評価が点数化される事になったが、果たしてその評価の物差しは適切だったろうか？時代の価値基準が変化し、求められる薬局の姿も変わらざるを得なくなった今、時代の求めにフィットした新型のかかりつけ薬局像を描いてみたいと思う。

専門職としての基礎を固める

薬事政策研究所 代表取締役 田代 健

2050年まで通用する専門職として生き残るために今、何が必要なかを、「専門職」とはどのようなものか、「組織の中での専門職の責任」、「他の専門職との連携」といった観点から一緒に考えることを目標とします。

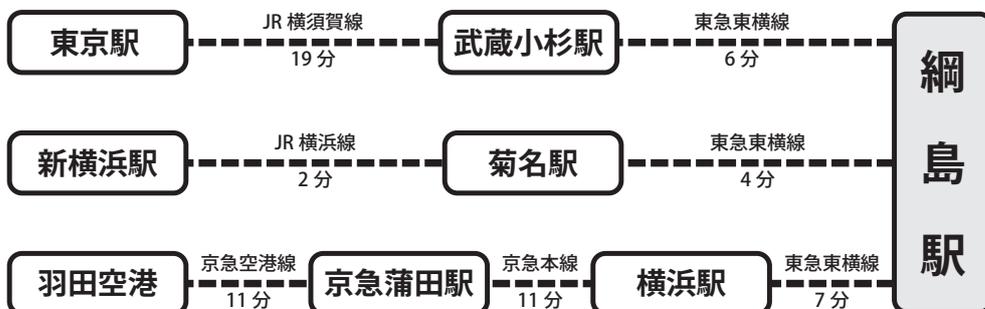
本講座の目的

これからの薬局を支えていく新人・若手社員として、本当に患者さんに必要とされるかかりつけ薬剤師制度について考える事により、患者さんに対する薬局スタッフとしての「責任感」と「コミュニケーション力」を習得すると共に、自己・薬局の「現状」を確認し、「あるべき姿」のギャップを埋める。

研修後の姿

- かかりつけ薬剤師制度を理解した上で本当に患者さんに必要な事は何か整理出来ている。
- 患者さん一人ひとりに対し薬局スタッフとして必要なコミュニケーション力が身についている。
- 現状とあるべき姿のギャップを埋めるために何が必要かを考え出し、行動を起こす。

アクセス



東急東横線 網島駅 徒歩2分